

# ■ BLoC 7th. 競技規則

## 1 概説

1.1 BLoC 7th.は、ボルダリングでの競技とする。

1.2 カテゴリーはシリーズ戦となる『レギュラー男子』・『レギュラー女子』・『ミドル男子』と、シリーズ戦ではない『エントリー』がある。また、各ジム主催者の判断により上記以外のカテゴリー(シリーズ戦ではない)を設けることもできる。

	<男子>	<女子>
カテゴリー	レギュラー男子 BJC でセミファイナルに進出していない者	レギュラー女子 BJC で1~3位の入賞経験のない者
	ミドル男子 レッドポイントが概ね2級まで	
	エントリー【シリーズ戦ではありません】 レッドポイントが概ね4級まで(男女混合)	

1.3 参加資格は以下の通りとする。

1)レギュラー男子はボルダリングジャパンカップでセミファイナルに進出経験のない男子(一部特例あり)。

●該当ボルダリングジャパンカップは下記に記載いたしました過去3年間の大会になります。

<第8回東京大会・第9回静岡大会・第10回深谷>

2)レギュラー女子はボルダリングジャパンカップで1位~3位の入賞経験のない女子(一部特例あり)。

●該当ボルダリングジャパンカップは下記に記載いたしました過去3年間の大会になります。

<第8回東京大会・第9回静岡大会・第10回深谷>

3)ミドル男子は、レッドポイントが概ね2級までの男子。

4)エントリーは、レッドポイントが概ね4級までの者。

1.4 競技方法に関して。

1)レギュラー男子・レギュラー女子・ミドル男子に関しては、予選と決勝にわかれており、予選はセッション方式とし、ボルダー数は10とする。

また、決勝の競技方法・システムに関しては各ジム主催者の判断により決定できる。

2)エントリーに関しては、予選のみでの開催と、予選と決勝にわかれての開催の2通りの場合がある。また競技方法は各ジム主催者の判断により決定できる。

1.5 各ラウンドの終了後には、最終順位及び予選での完登数とボーナスポイント数に応じて『レギュラー男子』・『レギュラー女子』・『ミドル男子』にそれぞれ『シリーズポイント』が与えられる。

1.6 各カテゴリーの年間順位は、各ラウンドで与えられたポイントのうち上位3戦のポイントを合計し集計する。また、各カテゴリーで得られたシリーズポイントは、そのカテゴリーでのみ有効とする。

1.7 最終戦終了時に、2名以上の選手が同じシリーズポイントで1位同着となった場合は、それを分けるために、同着の選手が同時に出場した大会での成績を一つずつ比較し、上位となった回数で決定する。この計算後なお同着の場合、1位の回数・2位の回数・3位の回数・・・と、成績の獲得数で順位を決定する。

## 2 競技内容

2.1 各ボルダーは、使用可能ホールドをテープで明示する。それ以外のホールドを選手は使用することができない。また、壁の形状等は特に制限がない限り使用することができる。ただし、黒色テープにより明示されたデマケーション内は使用することができない。

2.2 各ボルダーには、アンプトを開始するスタートホールドに『S』、ボーナスホールドに『B』(ボーナスホールドが複数個存在する場合にはスタートに近い方から『B1』・『B2』とする)、終了ホールドに『G』を明示する。最終ホールドの代わりに、ボルダーの上に立ち上がることなどで代替する場合もある。また、各ボルダーのスタートにはボルダーNo.を明示する。

- 2.3 安全上の理由によりエリアわけをする場合がある。その場合は、課題に使用しているテープの色と黒色以外のテープにより明示する。
- 2.4 スタートに関して。
- 1) 選手の身体の全てが地面から離れることをもってアテンプトの開始とする。
  - 2) 地面から離れた瞬間、それ以上のムーブをおこなう前に指定されたスターティング・ポジションにつかなければならない。  
※『スターティング・ポジション』とは、スタートで使用する両手と両足のホールド(部分)に安定した体勢になる状態。
  - 3) スターティング・ホールドに地面の上から手が届かない場合には、スターティング・ホールドに跳びついてスタートすることができる(地ジャンスタート)。  
※『地ジャンスタート』の場合には、そのまま跳びつく場合や、スターティング・ホールド以外を蹴って跳びつく場合もあるため、選手がわかりやすいように指定する。
- 2.5 ボーナスポイントに関して。
- 1) 予選では各ボルダーに1つボーナスホールドが設定されている(決勝は主催者の判断で異なる)。
  - 2) 選手は設定されたボーナスホールドを保持するとボーナスポイントが与えられる。また、選手はそのボーナスホールドを使用せずに完登した場合も与えられる。
- 2.6 完登に関して。
- 1) 終了ホールドを両手で保持(control)する。
  - 2) ボルダーのトップが終了点の場合は、ボルダーの頂上に立ち上がった状態になる。  
※いずれの場合にも、ジャッジがこれを認め『OK』と宣言したときに完登となる。
- 2.7 以下に示す場合はアテンプトが成功しなかったとみなされ、1回のアテンプトに数えられジャッジにより中止を宣言される。
- 1) 2.4に規定するスタートに失敗した場合。
  - 2) 2.1に規定する使用制限を違反してホールドまたは壁の形状等を使用した場合。
  - 3) クライミング・ウォールにボルト取付け用にあけられた穴を手で使用した場合。
  - 4) 身体のどこか一部が地面に触れた場合。
  - 5) スタートホールド以外に、手または足で触れた、もしくはチョークをつけたり「ティックマーク」を追加したりした場合。  
※スタートホールドは両足が地面から離れていない状態でのみ触れることができる。

### 3 予選

- 3.1 レギュラー男子・レギュラー女子・ミドル男子・エントリーともにセッション方式であり、ボルダー数は10とする。また各ボルダーにはボーナスホールドが1つ設定されている。
- 3.2 スコアカードは選手が保管する。紛失した場合は失格とする。
- 3.3 選手はアテンプトを希望するボルダーまたはエリアに並び、アテンプト前にスコアカードをジャッジに手渡しボルダーNo.を申告してからアテンプトを開始する。
- 3.4 アテンプトの結果はジャッジが記入する。
- 3.5 アテンプト終了後はジャッジからスコアカードを受け取る。その際に間違い等があればその場でジャッジに申告する。時間が経過してからの申告は無効とする。
- 3.6 予選のセッションタイムは各ジム主催者の判断により設定できる。また、時間の延長等も各ジム主催者の判断により決定できる。
- 3.7 予選のセッションタイム内のアテンプトは有効とする。
- 3.8 予選終了後、各選手はただちにスコアカードを指定されたスタッフに手渡す。時間が経過してから手渡された場合は無効とする。

### 4 決勝

- 4.1 レギュラー男子・レギュラー女子・ミドル男子では決勝が開催される。また、エントリーは決勝の開催を各ジム主催者の判断により決定できる。

4.2 決勝の競技方法・システムは各ジム主催者の判断により決定することができる。

## 5 テクニカル・インシデント

5.1 テクニカル・インシデントは以下のようなものである。

- 1) ホールドの破損または緩み。
- 2) その他、選手の動作の結果ではないところのことながら、選手に不利または有利にはらたいた。

5.2 予選において、ホールドの破損または緩みによるテクニカル・インシデントが発生した場合、その修復をした後、被害選手からアテンプトを再開する。ただし、被害選手がそれを望まない場合には列に並ぶ先頭選手から再開する。

また、修復に多大な時間を要した場合には、各ジム主催者の判断によりセッションタイムを延長することができる。

5.3 決勝において、ホールドの破損または緩みによるテクニカル・インシデントが発生した場合、各ジム主催者の判断によりその処遇を決定することができる。

## 6 予選・決勝後の順位

6.1 予選後、選手は以下の基準で順位付けされる。

- 1) 完登したボルダー数
- 2) ボーナスポイントの数

6.2 決勝後、選手は各ジムの競技方法・競技規則により順位付けされる。

6.3 決勝で同着がある場合、予選にさかのぼってカウントバックを適用し最終順位を決める。

6.4 エントリーにおいて予選のみでの開催の場合には、予選の順位がそのまま最終順位となる。

## 7 シリーズポイント

7.1 各ラウンドの終了後には、最終順位及び予選での完登数とボーナスポイント数に応じて、『レギュラー男子』『レギュラー女子』『ミドル男子』にそれぞれ『シリーズポイント』が与えられる。

7.2 シリーズポイントは以下の通りである。

予選		最終順位	
完登	3	1位	100
ボーナスポイント	1	2位	70
		3位	50
		4位	40
		5位	30
		6位	20

※例として、予選で6完登8ボーナスポイント・最終順位が5位の選手には『 $6(\text{完登}) \times 3 + 2(\text{ボーナスポイント}) \times 1 + 30(\text{最終順位ポイント}) = 50$ ポイント』が与えられる。

7.3 決勝で同着になる各選手が獲得するポイントは、同着になった各順位に対応する全ポイントの平均となる。ポイントは小数点以下を四捨五入する。

※例として、2位が2名の場合はそれぞれ60ポイント $\{(70+50) \div 2 = 60\}$ が与えられ、2位が3名の場合はそれぞれ53ポイント $\{(70+50+40) \div 3 = 53.333\cdots\}$ が与えられる。

7.4 各カテゴリーの年間順位は、各ラウンドで与えられたポイントのうち上位3戦のポイントを合計し集計する。また、各カテゴリーで得られたシリーズポイントは、そのカテゴリーでのみ有効とする。

※例として、ミドル男子で得たシリーズポイントはレギュラー男子では無効である。

7.5 終戦終了時に、2名以上の選手が同じシリーズポイントで1位同着となった場合は、それを分けるために、同着の選手が同時に出場した大会での成績を一つずつ比較し、上位となった回数で決定する。この計算後なお同着の場合、1位の回数・2位の回数・3位の回数…と、成績の獲得数で順位を決定する。